

令和3年10月18日
茨城県保健福祉部厚生総務課
茨城県立医療大学

令和3年度茨城県立医療大学入学者選抜試験における採点ミスについて

令和2年11月に実施した令和3年度の保健医療学部の学校推薦型選抜入試（令和3年4月入学）において採点ミスがあり、本来合格とすべき受験生3名を不合格としていたことが判明しました。

昨日（17日）までに、当該受験生及び保護者に説明し、謝罪を行いました。今後、本学への入学意向等が示された場合には、その意向を尊重し、適切に対応してまいります。

1 採点ミスの内容

学校推薦型選抜試験の総合問題において、33問中の2問（配点：1問は5点、1問は7点）について誤った正解に基づき採点。正しい答えに基づいて採点し直した結果、3名について本来合格とすべき順位であったにも関わらず不合格と判定していたことが判明した。

2 ミス判明の経緯

10月12日：本学HPに掲載している過去問題を見た方から、電話により、解答の誤りが指摘される（総合問題（和文）中の小問1問）

13日：指摘された問題を含め、令和3年度の出題及び解答を確認したところ、総合問題の2問について、解答の誤りを確認

14日：正しい解答に基づき、改めて全受験生（207名）の採点を実施

3 ミスの原因

(1) 入試問題作成にあたっては学内の入試委員会や問題精選委員会等において複数人が複数回点検しているが、多肢選択問題における問題と正解の一致に係る確認が不十分であった。

(2) システム変更に伴う採点結果を点検する手順（正答率、識別係数などによる確認）が不十分であった。

こと等が原因と推測される。

4 これまでの対応

(1) 本来合格と判定すべきであった受験生への対応

受験生本人及び保護者に対して説明、謝罪を行った。

今後、受験生本人及び保護者の意向を確認した上で、本学への入学を希望する場合には、年度内又は令和4年4月の転入学について調整を行う。
また、必要な補償についても協議していく。

(2) 推薦元高校等への対応

採点ミスにより不合格と判定された受験生を推薦した高校等に対して、速やかに状況説明及び謝罪を行った。

(3) 採点に関する調査

令和3年度一般選抜分を調査した結果、合否に影響はないものの、得点の集計ミスが確認された。

令和2年度以前分については、現在調査中。

(4) 原因解明

学内において、試験業務に従事した教員から聞き取りを行い、ミスの原因を特定した。

5 再発防止

今後、特定した原因に即し、入試問題作成時の点検手順や採点結果を点検する手順を徹底するなど、再発防止に努める。